

アメリカいなりやめて!

米軍新基地

建設の理由が

破たん

「一刻も早い普天間基地の危険性除去」  
とは何だったのか...



9月の沖縄県知事選挙での勝利に向け、  
全国の支援を広げましょう!

自民党政府は、戦後80年余、米軍基地に苦しめられ続けた沖縄県民に対し、新たな米軍基地建設を押しつけてきました。宜野湾市の市街地にある米軍普天間基地の移設という名目での、名護市辺野古・大浦湾の美しい海を破壊する新米軍基地の建設です。

30年前から持ち上がったこの新基地建設計画に対し、沖縄県民は保守・革新・中道の政治的立場を超えて、「辺野古・大浦湾の海を壊すな」「これ以上の米軍基地の苦しみはいらない」「普天間基地は無条件撤去を」と反対運動を繰り広げてきました。垣根を超えた「オール沖縄」のたたかいです。そして、3度の沖縄県知事選挙、そして2019年の県民投票で、辺野古新基地建設ノーの明確な民意を示してきました。

### 完成の見込みない新基地建設

辺野古新基地建設の進捗は今も土砂投入予定の16%程度。一方で、税金は政府予定費用(9300億円)の7割を投入。完成までに何兆円かかるかわかりません。

昨年1月から始まった大浦湾の地盤改良工事のための砂杭7万1000本の打ち込み作業は遅れに遅れ、あと15年にかかるペース。さらには、水深70~90mに広がる軟弱地盤を固める技術はなく、完成の見込みもない、環境破壊の暴挙です。

### 完成しても「普天間は返さない」 (米国防総省)

### 完全に破たんした政府の説明

昨年9月、米国防総省は、たとえ辺野古新基地ができて、米軍が使える長い滑走路がなければ、「普天間基地は返還しない」と明言しています。政府の「一刻も早い普天間基地の危険性除去」の説明は、完全に破たんしています。ただちに工事を中止し、普天間基地を無条件返還すべきです。



辺野古新基地建設工事の中止と  
普天間基地撤去を求める署名にあなたも!



日本平和委員会

2026年3月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです  
「平和新聞」(月2回刊)、「平和運動」(月間)発行中

<http://j-peace.org/> (X) (F)

